

防府山の会 5 月例会 西赤石山(1625.7m) 山行報告書

2019.5.14

- ◇日 時 平成 31 年 5 月 11 日 (土) ~12 日 (日)
- ◇会 費 12,000 円 (昼食・行動食は含まず)
- ◇参加者 Y.Y(CL)、M.K(SL)、I.S(会計)、Y.H、Y.S、U.N(記録)
- ◇交通機関 レンタカー(トヨタエスティマ 8 人乗りハイブリッド)
- ◇宿 泊 銅山峰ヒュッテ (伊藤峰夫 : 080-8907-5748、素泊まり : 3,000 円)
- ◇アプローチ

(往路)

5/11 (土) 防府市役所 7:00^7:10---防府東 IC 7:15---下松 SA 7:36---福山西 IC 9:20
---大浜 PA 9:35---今治 IC 10:22---今治湯ノ浦 IC 10:40---伊予西条 IC 11:00
道の駅「マイントピア別子」11:43^12:30---東平登山者用駐車場 13:00

(復路)

5/12 (日) 東平登山者駐車場 13:30---47 号線川又分岐 14:15---マイントピア別子 14:30 ^ 15:10
---新居浜 IC ---今治 IC---瀬戸田 PA 15:30 ^ 15:40---福山西 IC
---下松 SA 17:45---防府東 IC 18:10---防府市役所 18:20

◇登山コース

5/11 (土) 東平登山者用駐車場 13:10...第三通洞 13:25...銅山峰ヒュッテ 14:52 (素泊まり)
5/12 (日) 銅山峰ヒュッテ 6:10...銅山越 6:44...東山 7:20...西赤石山 8:45^9:17
...兜岩 9:35^9:55...一本松 11:55...第 3 通洞 12:20...東平登山者用駐車場 12:30

◇個人装備

カッパ上下、着替え、行動食 (12 日昼)、スパッツ、帽子、ザック、水、登山靴、靴下、
ライト、地図、コンパス、洗面具、スマホ(モバイルバッテリー)、カメラ(予備充電電池)、サングラス、
防寒着他

◇共同装備

コンロ・ガス・コッヘル (Y.Y、U.N)、救急用品 (U.N)

◇参考記録

5 月 11 日(土) 晴れ

7 時 10 分定刻どおりに市役所を出発、防府東 IC から山陽道に入り、途中下松 SA で Y さんに乗せ、福山西で山陽道から離れ西瀬戸自動車道(しまなみ海道)を快適に走り松山道へ、途中のスーパーCO-OP で買い出し、11:55 道の駅「マイントピア別子」で昼食。12:15 再び車に乗りループした県道を走ると、左に東平への案内板、狭いジグザグの道を登って東平登山者用駐車場に車を停めた 13:00。「東平(とうなる)」は、標高約 750m の位置にあって、東洋のマチュピチュと呼ばれており、駐車場・歴史資料館・マイン工房などが整備されている観光地だが、今日は直ぐに銅

山峰ヒュッテに向けて歩行開始。約 15 分で第三通洞到着 13:25。通洞手前の案内を確認して左に入る、ここから本格的な登山開始。13:50 案内標柱のある分岐に到着、右は馬の背コース、我々は左の柳谷コースを歩き、やがて沢の音や野鳥のさえずりに耳を傾けながら歩く事約 1 時間。銅山峰ヒュッテが見えたところで左手斜面に人が？手招きに案内されて見に行けば、足元に可憐な小さなピンクの花が群生していた。カッコソウ(シコクカッコソウ)とのこと。14:52 銅山峰ヒュッテに到着、細長い平屋で歴史を感じさせる建物、素泊まりだがここでお世話になる。小屋前に出れば遙か眼下に新居浜市街が見えている。一人で小屋を守っているオーナーのおばあちゃんに挨拶をし、今日は宿泊者が多く、寝具も 5 人分 + α とオーナーの息子さん伊藤峰夫からの説明。実はこの後一波乱あったが詳細は割愛。8 畳間に 6 人、寒くて熟睡出来ない方もあったそうだ。

5 月 12 日(日) 晴れ

5 時前から騒々しく目が覚める。手早く朝食とトイレを済ませ、予定より早く、6 時過ぎにはヒュッテを後にした。明るい雑木林を快適に登っていくと、いたるところ樹木名を記載したプラ板が吊り下げてあり、周りを見ればツツジが多い。30 分後銅山越到着(標高 1294m)。ここから明るく展望の効いた稜線歩きとなり、清々しく何とも気持ちがいい。7:20 東山(1392m)到着、東山を過ぎたあたりから、アケボノツツジが散見されるようになり、立ち止まってはアケボノツツジを撮影し、西赤石山頂までカメラが手放せない。8:45 西赤石山頂(1625.7m)到着、数人の登山者あり、集合写真のシャッターをお願いし、暫くは素晴らしい大展望を満喫した。その後兜岩に向かう筈が、東赤石山へのルートである事に気づき、一旦西赤石山頂まで戻り、改めて兜岩に向かう。いきなり、よく滑る急な登山道から始まり、梯子やロープに掴まりつつ、9:35 大岩の重なる兜岩到着。この兜岩からの眺めがとにかく素晴らしい！目前西赤石山の西斜面一面に、アケボノツツジが群生しており、圧巻としか言いようがない。登山者の数人が岩によじ登って、盛んにシャッターを押している。集合写真も撮り名残惜しいが、第三通洞に向けて、上部鉄道コースを下山する。このコースでは途中多くの登山者にすれ違った。疲れた頃に、掘り出した鉱石を運ぶために作られた鉱山鉄道敷設跡に出て、小休憩及びコーヒータイム。いつもながら山で飲むコーヒースは格別な味がする、それに甘いものも。休憩後、寂れた緩やかな鉄道敷設跡を淡々と歩き、時折谷を跨ぐように鉄道を渡したであろう赤レンガの古びた橋脚が、過去の繁栄を物語るようだった。一本松停車場跡 11:56 通過、12:20 第三通洞到着。10 分後ようやく東平駐車場に戻り、歴史資料館を見学。昭和 43 年に東平抗休止後無人の地となったが、繁栄当時の人々の暮らしや写真、大小の産業遺産を目の当たりにした。個人的には、索道停車場跡まで降りて、赤レンガに直に触れて見たかったが、帰郷の時間も限られている事から仕方がない。13:25 東平出発、道の駅「マイントピア別子」13 時 50 分着、瀬戸田 PA 15:40 分、下松 SA 17:45 着、防府市役所 18 時 20 分無事到着。今回の山旅で出会った植物のほんの一部、アケボノツツジ、カッコソウ、ヒカゲツツジ、オオカメノキ、ツガザクラ、等々。

◇考察

(私は) 過去に一度、東赤石山～西赤石山を縦走しているが、兜岩の存在は全く知らなかった。次にこの山に登られる方は、必ず兜岩まで足を延ばして、ここからの絶景を堪能していただきたい。この度の山行は何よりも二日間天候に恵まれ、怪我も事故も無く、計画からご苦労された Y リーダー、運転された方、そして共に感動を共有できた同行諸氏に、心からの御礼を申し上げたい。尚、余談ですが、走行中は高速一般道問わず、同乗者全員必ずシートベルト着用、IC 出口で取り締まりをやっていた。自分の歩くルートは自分で適時確認すること、一方的に人に頼らない。休憩した際は、必ず一声掛けて忘れ物等がないか見まわしていただきたい。5月の山はまだ寒い、フリース等の防寒着は必携。12日朝予定より2時間早く出発した、この2時間が後の工程に余裕が生まれ、写真の撮影や休憩、それに興味深い資料館の見学等に功を奏した事も特筆すべき。久しぶりに狂喜乱舞した山行だった。感謝

◇トレース (ジオグラフィカ)

